

展覧会初日イベント

ボクシング・ペインティング公開制作

2017年9月16日[土] 11:30~12:10

会場 = 刈谷市美術館・第2展示室

* 屋外での公開制作を計画していたが、雨天のため館内で開催

篠原有司男展 ギョウちゃん、 "前衛の道、爆走60年" Ushio Shinohara Gyu-chan, 60 years of roaring on the avant-garde road



①



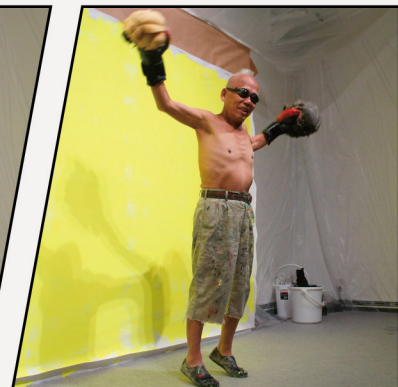
②



③



④



⑤



⑥



⑨



⑦



⑧



⑩



⑪

9月15日[金]=展示室に仮設置した幅約9m×高さ約2mの巨大なカンヴァスに、ローラーで蛍光イエローの地色を描いて下準備(①~②)。

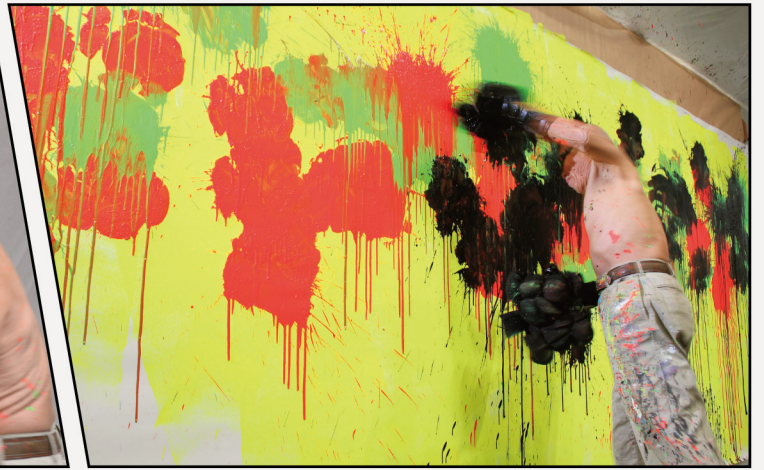
9月16日[土]=台風の影響による雨天のため展示室内での公開制作となったが、大勢の観客が集まり会場に溢れかえった。ボクシング・ペインティングを始めた経緯など、これまでの制作活動についてギョウちゃんが説明(③)。トークの後、制作開始。スポンジを付けた特製グローブをはめ、右手に蛍光グリーン、左手に蛍光レッドの絵具を浸してパンチを炸裂。ポカンという大きな音とともに、絵具が勢よく飛び散り、観客から歓声があがった。パンチを繰り返しながら右から左に向かって進んでいく(④~⑪)。左端まで行くとグローブを付け替え、今度は黒の絵具を浸し、再びカンヴァスを叩きつける(⑫~⑬)。黒が打ち込まれるごとに、黄、緑、赤の鮮やかな色彩に強烈なコントラストが生まれ、それぞれの絵具が入り交じり、滴り落ちていった。喝采を浴びたギョウちゃんは、最後に足でサインをして完成(⑭)。「早く、美しく、そしてリズムカルであれ」をモットーにするシノハラアート。御年85歳とは思えないパワーとエネルギーを発散し、渾身の力を込めた最新作の公開制作は、観客に衝撃と感動をもたらした。



12



13



14



15



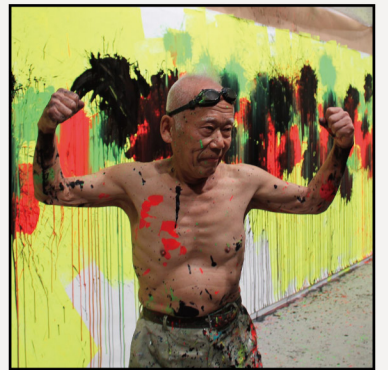
16



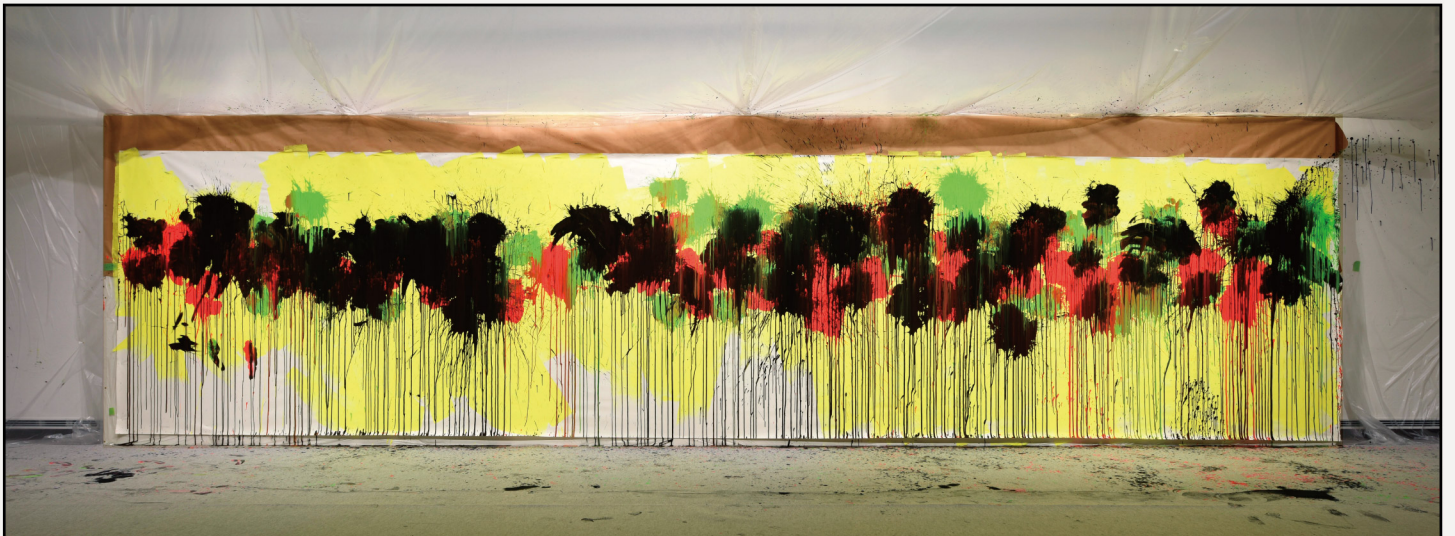
17



18



19



20 《嵐来るかも ---》 A Storm May Be Coming--- / 2017年 / 207.0×893.0cm / アクリル・カンヴァス



⑳ 《一葉》 *Ichiyoh (One Leaf)* / 2017年 / 134.0 × 33.9cm / アクリル・紙
 「掛軸だから一発だよ！」と同時制作された掛軸《一葉》は、美術館敷地内の茶室の床の間に展示(㉑～㉒)。茶室では「モヒカン饅頭」と抹茶で一服どうぞ(詳細は美術館へ)。



㉑
 ㉒



㉓